

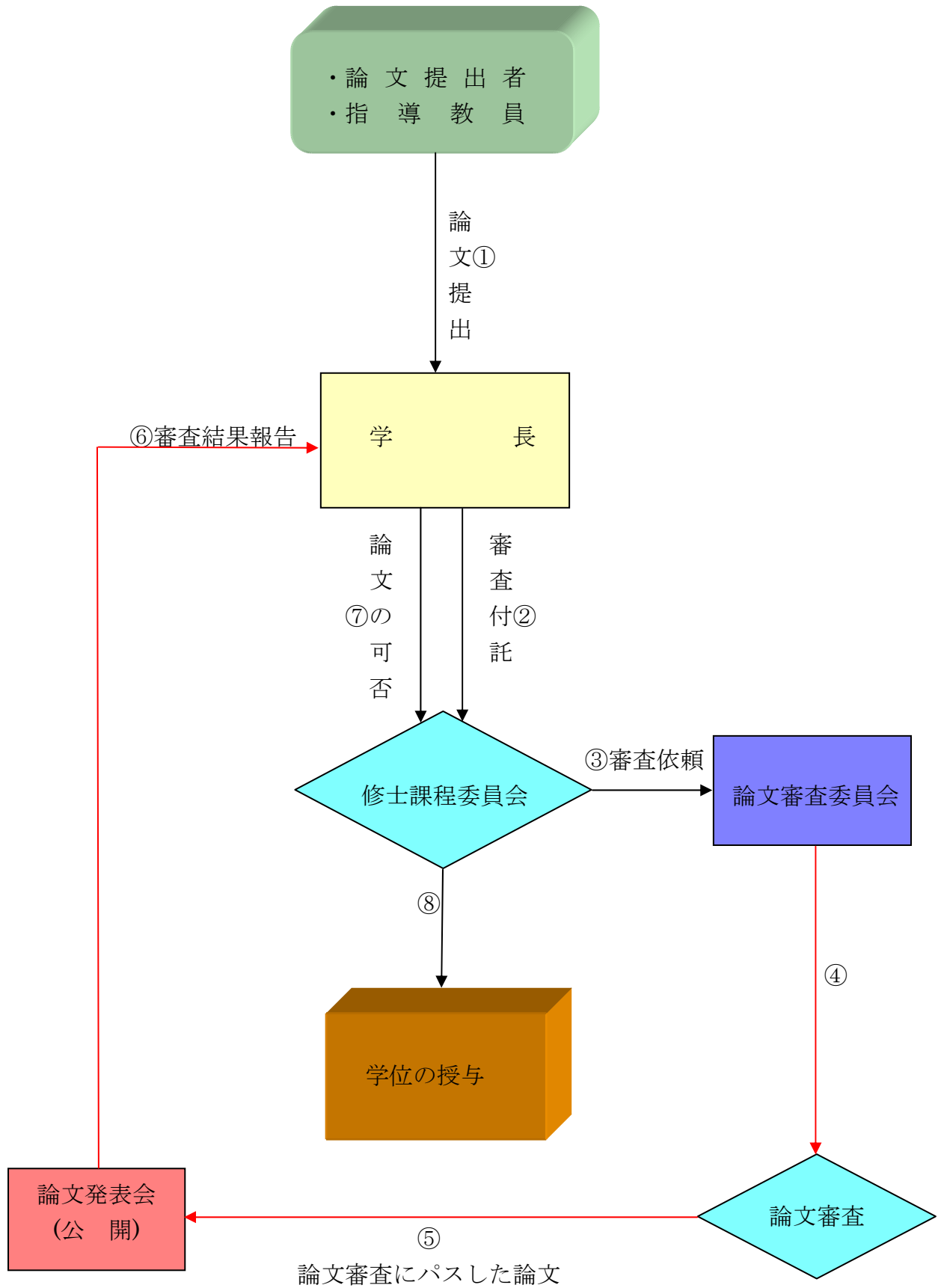
[平成24年3月改訂]

学位論文関係諸手続

修士論文

旭川医科大学大学院医学系研究科

【修士学位論文審査のフローチャート】



学位論文（修士）関係諸手続

学位の授与を受けるためには、修士論文の提出に関し、大学院学則等の規程のほかに詳細な手続上の決まりがありますので、予め、この冊子を熟読し、十分注意のうえ手続をして下さい。

I. 修士論文提出手続の前に

1. 修士論文提出の資格

修士論文は、大学院医学系研究科修士課程に1年6箇月以上在学し、大学院学則に定める授業科目について30単位以上を修得又は修得見込みの者が提出できます。

2. 修士論文

修士論文は、単著を原則とします。

共著の場合は、次の2つの要件を満たす場合に限り提出できます。

- (1) 論文提出者が筆頭者であること。
- (2) 論文提出者以外の共著者が、当該論文を学位論文として学位授与申請に使用しないものであること。この場合、共著者の承諾書（様式第18）を添付しなければなりません。

II. 修士論文提出手続等

1. 修士論文提出手続

(1) 修士論文提出の期限

修士論文の提出期限は、次のとおりとなっているが、当該日が土曜日、日曜日又は国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、直後の平日とする。
(午後5時締切り)

- | | |
|------------|----------|
| 1) 3月修了予定者 | 同年の1月10日 |
| 2) 9月 " | " 7月15日 |

(2) 学位論文提出先

学位論文は、学生支援課大学院・留学生係に提出すること。この場合、提出書類について、誤記等があればその場で訂正してもらうので、本人が持参すること。

また、原稿を作成した時点で、必ず事前に指導教員の点検を受けること。

(3) 提出書類等

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1) 学位論文審査願（様式第6） | 1通 |
| 2) 論文目録（様式第11） | 1通 |
| 3) 学位論文（正1部、副3部） | 4部 |
| 4) 参考論文（参考論文がある場合） | 4部 |
| 5) 学位論文の要旨（様式第13） | 60部 |
| 6) 履歴書（様式第12） | 1通 |
| 7) 指導教員承認書（様式第15） | 1通 |
| 8) 共著者承諾書（共著者がいる場合）（様式第18） | 1通 |

上記については、作成上の詳しい注意事項を後掲してあるので参照すること。

2. 学位論文の説明及び質疑応答

論文提出者は、毎年2月及び8月に開催される論文発表会（公開）において、約10分間の説明をし、質疑を受けることになっているので、Power Point等の準備をしておくこと。

3. 学位論文審査及び最終試験の方法

(1) 学位論文は、修士課程委員会に設けられた審査委員会で審査されるが、審査期間中、学位論文の内容について、各審査委員から随時試問されることがあるので、いつでも対応できるように連絡を密にしておくこと。

(2) 最終試験は、審査委員会で学位論文の関連分野について、口頭試問又は筆答試問の形で実施する。

4. 学位の授与

審査委員会による学位論文の審査結果及び最終試験の結果は、修士課程委員会に報告され、修士課程修了の認定及び学位授与が議決された後、原則として、3月25日及び9月30日に学長から学位記が授与されます。

※ 学位授与後は、必ず提出した論文を製本して、本学図書館に蔵書願います。（本学に出入りの製本業者を紹介することも可能ですので、希望の方は申し出願います。）

Ⅲ. 学位論文及び参考論文作成上の注意事項

学位論文及び参考論文は、以下のとおり作成して下さい。

1. 学位論文

(1) 表紙

1) 表題は、論文の内容を具体的かつ簡潔に示すものとし、論文が日本文の場合は日本語で、外国語で書かれたもの場合は外国語で記載すること。なお、外国語の場合は、表題の下に（ ）書きで和訳を付記すること。

2) 略語は、表題の中ではごく一般化されたもの以外は、原則として使用しないこと。

3) 副題を付けることは差し支えないが、「第一報・・・」のような形式は避け、できるだけ簡潔なものにすること。

4) 著者名は、称号を付けず姓名を略さずに記載すること。（戸籍抄本と一致させること。）

表紙の様式（A4判の用紙）

A ○○○○○
B ○○○○○○○○○○
C _____
D _____
()

A. 学位論文又は参考論文の別

（参考論文が2編以上ある場合は、論文目録の記載順に番号をつけること。）

例：参考論文1 参考論文2・・・

B. 表 題

C. 専攻名

（旭川医科大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻）

D. 著者名

（ ）内に共著者名

(2) 本 文（最終ページにある**修士論文執筆ガイドライン**と下記項目に従ってください。）

- 1) 日本語の場合は、A4判の用紙にパソコン等により印字し、横書きとすること。
- 2) 外国語の場合は、A4判の用紙にパソコン等を用いてダブルスペースで印字すること。
- 3) 用紙は、所属機関名等の入らない白無地のものを使用し、あまり薄い紙質のものは使用しないこと。
- 4) 図表又は図形等は、A4判の枠のサイズ内におさめること。
- 5) 副本の写真は、正本同様にオリジナル・プリントを使用すること。
- 6) 学位論文は、提出後に訂正等のないように吟味・推敲のうえ、完成したものを提出すること。
- 7) 学位論文は、ダブルクリップではさみ、1部ごとに封筒に入れて提出すること。
- 8) 受理した学位論文は返却しないので、提出の際に写しをとっておくことが望ましい。

(3) すでに公表されているものについては、論文別刷をもって代えることができる。

ただし、表紙の様式を満たしていない場合は、別に所定の表紙を付けること。

2. 参考論文

- (1) 参考論文として、学位論文を補足する論文あるいは関連分野の論文を提出することができる。
（参考論文には、申請者がすでに発表した論文を含む。）
- (2) その他のことについては、学位論文に準ずること。

IV. その他の提出書類記入上の注意事項

1. 論文目録（様式第11）

- (1) 論文題目が外国語の場合には、（ ）書きで和訳を付記すること。
- (2) その他記載例を参照すること。

2. 学位論文の要旨（様式第13）

- (1) 論文題目が外国語の場合には、（ ）書きで和訳を付記すること。

- (2) 要旨は 3,000 字以内にパソコン等（活字の大きさは 12 ポイント程度）で印字すること。
- (3) 要旨は，研究目的，材料・方法，成績，考案，結論に区分して要約すること。
- (4) 図表及び写真は挿入しないこと。
- (5) 共著者があれば共著者名を要旨の表紙に掲載すること。
- (6) 重要な引用文献 5 編以内を要旨の最後に掲載すること。
- (7) 参考論文がある場合は 5 編以内を要旨の最後に掲載すること。

3. 履歴書（様式第 1 2）

- (1) 学歴は，高等学校卒業以後の履歴について，年次を追って記載すること。
- (2) その他記載例を参照すること。

4. 指導教員承認書（様式第 1 5）

学位論文を提出する場合は，必ず指導教員承認書を添付すること。

5. 共著者承諾書（様式第 1 8）

学位論文が共著による場合は，必ず共著者承諾書を添付すること。

学 位 論 文 審 査 願

平成 年 月 日

旭川医科大学長 殿

氏 名 _____

旭川医科大学学位規程第4条第1項の規定により、学位論文に下記の書類を添え提出しますので審査願います。

記

1. 学位論文の要旨 60部

備 考

学位論文は、正1部、副3部の計4部を提出するものとする。用紙はA4判とする。

なお、特定の課題についての研究の成果の場合は、学位論文の要旨の部分を、研究成果の要旨に書換えて提出すること。

(注) 署名は必ず本人が自署してください。

論 文 目 録

学位論文

1. 題 目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

△△△△, □□□□と共著 (論文提出者を除く)

平成 年 月 日
申請者 _____

※用紙の大きさは、A 4 判とし、23×17 cmの枠内におさめること。

※用紙は、各自で作成すること。

(注) 署名は必ず本人が自署してください。

考 察

.....
.....
.....

結 論

.....
.....
.....

(ページを入れる)

(最終項)

引 用 文 献

(重要な引用文献5編以内を掲載すること。)

(ページを入れる)

履 歴 書

ふりがな あさひ かわ はな こ
氏 名 旭 川 花 子 (男・女)

Hanako Asahikawa

生年月日 昭和 年 月 日

本 籍 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

現住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

学 歴

平成○年○月○日 ○○○○○高等学校卒業

平成○年○月○日 ○○大学○○学部卒業

平成○年 4月 1日 旭川医科大学大学院医学系研究科修士課程入学

平成○年○月○日 同上修了見込

職 歴

な し

研究歴

な し

資 格

平成○年○月○日 看護師免許証下付 (第○○○○○号)

賞 罰

な し

上記のとおり相違ありません

平成 年 月 日

氏 名 _____

※用紙の大きさは、A4判とし23×17 cmの枠内におさめること。

※用紙は、各自で作成すること。

(注) 署名は必ず本人が自署してください。

指導教員承認書

平成 年 月 日

旭川医科大学長 殿

論文指導教員

氏名 _____ 印

下記の論文を学位論文として提出することを承認します。

記

論文題目	
専攻名	
領域	
氏名	

共著者承諾書

平成 年 月 日

旭川医科大学長 殿

氏名 _____ ⑩

所属 _____

電話 () - () - _____

現住所 _____

電話 () - () - _____

下記の論文を _____ 氏が貴大学院医学系研究科に修士論文として提出
することを承諾します。

なお、私は当該論文を学位論文として学位の授与の申請に使用いたしません。

記

論文題目

備考

この承諾書は、共著者が作成すること。

修士論文執筆ガイドライン

(2007年12月28日改訂)

1. 修士論文の本文は、IMRAD フォーマット(Introduction, Methods, Results and Discussion) に準じて記す。各パートの名称と内容は、次の表を参照のこと。

名称	内容
表紙	論文題名と著者名
目次	
緒言	研究課題の背景（先行研究文献に基づいて記す） 研究目的
方法	研究対象 データ収集方法（調査方法、実験方法） 測定指標（調査項目） データ分析方法 倫理的配慮
結果	この研究で得られたデータに基づいて記す
考察	この研究での結果と先行研究文献に基づいて考察する
結論	この研究の結論を簡潔に記す
謝辞	（必要に応じて）
引用文献	引用した文献のリスト（単なる参考文献は除く）
図表	この研究で得られたデータを図表化する
資料	この研究に用いた調査票等（必要に応じて添付する）

2. ページの付け方

本文パートは、緒言から引用文献まで、通しページを付ける。図表パートのページは図表番号で代用し、資料パートは必要に応じて付ける。

3. 執筆要領

- 1) A4サイズの紙を用い、余白設定は上下左右とも25mm程度とする。本文パートの文字の大きさは12ポイントとし、1ページあたり35行とする。
- 2) 数字および欧文文字は原則として半角とする。
- 3) 外国人名や適切な日本語訳の無い用語などは原語の綴りを用いる。
- 4) 本文中の文献引用は、Name-Year System (Harvard Style)に従い、筆頭著者の姓と発表年を示し、次の例のように記す。
(例)「△△に関しては、~~~~~だった(〇〇ら, 2006)。」
「〇〇ら(2006)は、~~~~~と指摘した。」

4. 引用文献リストの記載様式

- 1) 引用文献のリストは、Name-Year System (Harvard Style)に従い、筆頭著者の姓のアルファベット順に並べる。
- 2) 文献の著者が3名までは全員を記し、4名以上の場合は3名までを挙げ4名以降は省略して「~~~~, et al」「~~~~, 他」と記す。
- 3) リストの記載は下記の例に準ずる。数字、かっこ、コンマ、ピリオド、コロンの、スペースは、いずれも半角文字を用いる。
 - ・雑誌の場合
著者名(発行年): 論文題名. 雑誌名, 巻(号):頁-頁.
 - ・単行本の場合
著者名(発行年): 書名. 発行所.
 - ・単行本の一部の場合
著者名(発行年): 論文題名. 編者名, 書名, 頁-頁, 発行所.

5. 図表の様式

- 1) 図表の題名は「表1. ~~~」「図1. ~~~」のように記し、いずれも上側に配置する。
- 2) 本文パートの後に、表の通し番号順、図の通し番号順に並べる。